

## 2007年規定審議会の付託案件に関する理事会および管理委員会の決定

RI 定款の第 10 条第 6 節は、RI 理事会が審議会によって採択された決議にかかわるすべての理事会の決定について、全ガバナーに通知するよう義務づけています。2007 年規定審議会は、同審議会において可決した案件、あるいは単に今後の検討と決定を促すために RI 理事会に付託された立法案のうちいくつかを検討するよう RI 理事会およびロータリー財団管理委員会へ要請しました。管理委員会は、付託されたそれらの案件を 2007 年 10 月会合において検討しました。RI 理事会は、付託されたそれらの案件を 2007 年 6 月および 11 月の会合において検討しました。以下は、規定審議会案件に関する上記の会合の議事録の抜粋です。RI 細則 5.020.に従い、RI 理事会の会合議事録および決定は、会合または決定が行われた日から 60 日以内に rotary.org に掲載されます。ロータリアンは、正式な議事録が作成されてから、そちらを参照すべきです。

### 審議会用 番号

### 決定

#### 07-01 クラブ例会を、毎週もしくは月に 2 回のいずれでも良いと認める件 (2007 年 6 月理事会会合、決定 270 号)

説明文:ロータリー・クラブには1週間に1度例会を開催することが義務づけられている。制定案07-01は、標準ロータリー・クラブ定款を改正し、クラブに毎週、もしくは月2回の例会の開催を認めるよう求めるものである。

**決定:**理事会は、審議会決議 07-01 (クラブ例会を、毎週もしくは月に 2 回のいずれでも良いと認める件) に対し、RI 理事会が 2007 年 7 月 1 日から 2013 年 6 月 30 日まで新しい試験的プロジェクトを実施し、例会の頻度がロータリー・クラブに与える影響に関する情報を収集するよう助言する。

#### 07-39 クラブのゲストとしてのロータリー財団学友 (2007 年 6 月理事会会合、決定 231 号)

説明文:財団学友がロータリー・クラブに関与することの重要性を認識し、審議会決議07-39は、クラブが財団学友をゲストとして例会に招くことを奨励するよう、RI理事会に要請した。

**決定:**審議会決議 07-39 (ロータリー財団の学友をゲストとして例会に招くようクラブに奨励することを検討するよう、RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、ロータリー章典、第 7.080.項を次の通り改正する。

### 7.080. 訪問者および来賓

#### 7.080.1. クラブ例会での来賓

クラブは、ロータリアンではない地元の人々にクラブの役割とその目的を理解してもらうため、クラブ例会に来賓を招くよう会員に奨励すべきである。

#### 7.080.2. クラブのゲストとしての学生

クラブは、クラブ例会のゲストとして学生を招待するよう奨励されている。クラブは、大学やその他の学校の学生に積極的に働きかけ、ロータリーの理念や基本原理を理解してもらう

よう奨励されている。

#### 7.080.3 来訪ロータリアンのゲスト

ロータリー・クラブは、クラブ例会に訪れるロータリアンと配偶者などのゲストを歓迎するよう奨励される。ただし、来訪ロータリアンのゲストを迎えるかどうかの裁量権はクラブにある。

#### 7.040.4 ゲストとしてのロータリー財団学友

クラブは、ロータリー財団の学友、特にクラブの所在地に最近転居してきた学友をゲストとして例会に招くよう奨励されている。学友は、来訪ロータリアンが払うのと同じ金額の出席費用を払うものと期待される。

### **07-68 ポリオの撲滅を国際ロータリーの最優先の目標であることを承認し、確認する件**(2007年10月管理委員会会合、決定9号)

説明文:管理委員会の要請を受けて、RI理事会は2007年規定審議会に、ポリオの撲滅を国際ロータリーの最優先の目標であることを承認し、確認する決議を提出した。

**決定:**管理委員会は、ロータリー世界がポリオ撲滅証明を達成するという目標に引き続き焦点を当てる意志を再確認する同委員会の決議を採択した2007年規定審議会に対し、感謝の意を表す。

### **07-70 安全な飲み水を重点事項とし、ブルー・プラネット・ラン財団(Blue Planet Run Foundation)のブルー・プラネット・ラン(Blue Planet Run)および水プロジェクト活動を支持する件**(2007年6月理事会会合、決定232号)

説明文:審議会決議07-70は、安全な飲み水を国際ロータリーの主要な重点事項としブルー・プラネット・ランの水プロジェクトに参加するようロータリアンを奨励することにより、ブルー・プラネット・ラン財団(Blue Planet Run Foundation)を支持することを提案した。

**決定:**RI理事会は、審議会決議07-70(安全な飲み水を重点事項とし、ブルー・プラネット・ラン財団(Blue Planet Run Foundation)のブルー・プラネット・ラン(Blue Planet Run)および水プロジェクト活動を支持する件)を受けて、

1. 決議案を提出し、水プロジェクトを支援している米国コロラド州、Telluride ロータリー・クラブならびに第5470地区(米国)に対し、感謝の意を表す。
2. ブルー・プラネット・ラン財団(Blue Planet Run Foundation)のブルー・プラネット・ラン(Blue Planet Run)を支持することに同意しない。
3. ロータリー・クラブと地区の奉仕の機会としてブルー・プラネット・ラン財団(Blue Planet Run Foundation)およびその関連活動を検討するよう水対策支援グループに要請する。

### **07-71 組織全体プロジェクトおよびキャンペーン**(2007年11月理事会会合、決定57号)

**07-73**

説明文:審議会により付託された決議07-71、07-73、07-79は、それぞれ組織全体としての新しいプログラム、あるいはキャンペーンを支援することを検討するよう理事会に要請した。2007年6月の決定258号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:**理事会は、審議会により付託された決議 07-71 (ポリオ撲滅の後、きれいな水と公衆衛生に関するプログラムを実施する件)、決議 07-73 (ポリオ撲滅の後、「水を守ろう」と称するプログラムを支援する件)、決議 07-79 (児童労働虐待をなくすキャンペーンを支援する件)を受けて、

1. 「ポリオ・プラス・プログラムが成功裏に完了するまで、その他の国際プログラムは検討されない」とするロータリー章典、第 40.040.1 項を再確認する。
2. ポリオが撲滅されるまでは着手されないことを認識した上、新しい組織全体プロジェクトを選択する基準と時期について同意する 2005 年 11 月の決定 45 号を再確認する。
3. 水プロジェクトを支援することに関心を示すロータリー・クラブと地区に、世界社会奉仕、会長任命支援グループ、あるいはロータリアン行動グループのような既存の RI プログラムを通じて、各自が支援したいと考える水プロジェクトに参加するよう奨励する。
4. 水プロジェクトに関心と支援を寄せた米国、California、Riverside ロータリー・クラブ、メキシコ、D.F.、Ciudad de México ロータリー・クラブ、メキシコ、D.F.、San Rafael ロータリー・クラブに対し、感謝の意を表す。
5. 児童労働虐待をなくすキャンペーンに関心を示し、このような虐待が存在する事実をロータリー・クラブと地区に広め、これをなくすことに努めた RIBI 審議会に対し、感謝の意を表す。

**07-74 奉仕プログラムの長期計画に飢餓と貧困の問題を取り入れることを検討するよう、RI 理事会に要請する件および貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置を検討するよう、RI 理事会に要請する件 (2007 年 11 月理事会会合、決定 58 号)**

説明文: 審議会により付託された決議 07-74 は、飢餓と貧困問題を RI の奉仕プログラムに関する長期計画の優先事項とすることを求めるものである。審議会に付託された決議 07-169 は、専門家からなる委員会を設け、全世界の国々の貧困緩和策を課題に研究を行うことを理事会に要請した。2007 年 6 月の決定 258 号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:**理事会は、審議会により付託された決議 07-74 (奉仕プログラムの長期計画に飢餓と貧困の問題などを取り入れることを検討するよう要請する件) および審議会により採択された決議 07-169 (貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置を検討するよう要請する件)を受けて、

1. 飢餓および貧困プロジェクトに関心と支援を寄せたアルゼンチン、S.F.、Rosario Oeste ロータリー・クラブおよび第 4880 地区 (アルゼンチン) に感謝の意を表す。
2. 貧困と飢餓は「奉仕の機会に関する項目」に含まれていることに言及する。
3. 貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置に関心を示したコロンビア、Ant.、Medellín-El Poblado ロータリー・クラブおよび第 4280 地区 (コロンビア) に感謝の意を表す。
4. 貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置に同意しない。

**07-76 結核の感染拡大と闘うプログラムを検討するよう、管理委員会に要請する件 (2007 年 10 月管理委員会会合、決定 10 号)**

説明文: 提出された審議会決議 07-76 は、「結核の感染拡大と闘うプログラムを検討する」よう管理委員会に要請するものであった。

**決定:**管理委員会は、

1. 説明文:審議会決議 07-76「結核の感染拡大と闘うプログラムを検討するよう管理委員会に要請する件」の付託に対して、RI 理事会に感謝の意を表す。
2. 「野生ポリオ・ウィルスの撲滅が証明されるまでは、組織全体の他のプロジェクトを一切採択しないこと」を確認する 2007 年審議会決議 07-68 に従い、管理委員会はポリオの撲滅が達成されるまでは、新しい世界的なプログラムを検討しないことに同意する。

**07-77 緊急対応実行グループを創設することを検討するよう、RI 理事会に要請する件**(2007 年 11 月 理事会会合、決定 59 号)

説明文:審議会により付託された決議 07-77 は、復興活動を援助するため、被災地に赴く緊急対応実行グループを形成することを検討するよう RI 理事会に要請するものであった。2007 年 6 月の決定 258 号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:**理事会は、審議会により付託された決議 07-77 (緊急対応実行グループを創設することを検討する件)を受けて、

1. 災害への緊急な対応に関心を寄せた Vijayawada Midtown ロータリー・クラブ(インド)および第 3020 地区(インド)に感謝の意を表す。
2. RI は長期的な復興活動を得意分野とするという認識の下、緊急対応実行グループの創設は支持しないが、代わりに定評のある災害救援団体との協力をロータリアンに奨励する。

**07-78 米国聴覚学財団(the Audiology Foundation of America)と正式な関係を結ぶことを検討する件**(2007年6月理事会会合、決定233号)

説明文:審議会決議07-78は、「手続要覧」の「ロータリー財団の目的を促進する、現実的で効果的な方法」のリストに聴覚医療の追加を検討することを提案し、また、国際的な聴覚保護プログラムの推進、開発、調整のために、米国聴覚学財団(the Audiology Foundation of America)といった専門団体と国際ロータリーとの間に正式な関係を結ぶことを検討するよう、RIに推奨した。

決議案の提案者は、審議会の場で米国聴覚学財団(the Audiology Foundation of America)への言及を削除し、この案を修正することを望んだが、そうすることはできなかった。提案者は、聴覚障害のある児童を援助し、ほかの財団や企業と提携して、関連プロジェクトを支援する方向に聴覚医療計画の焦点を移したいという意向を示した。

**決定:**審議会決議 07-78(米国聴覚学財団[the Audiology Foundation of America]と正式な関係を結ぶことを検討するよう、RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. 聴覚医療プロジェクトを支援する米国、Montana、Bozeman ロータリー・クラブおよび第 5390 地区(米国)に感謝の意を表す。
2. 人道的プログラムの指針は非常に幅広く、こうしたプログラムを通じてロータリー・クラブが聴覚医療に関連したプロジェクトの資金を受けられることから、聴覚医療をロータリー財団プログラムに追加することを検討するよう、本決議を管理委員会に付託しない。
3. 保健および飢餓救済支援グループおよび聴力再生ロータリアン行動グループに対し、第

5390 地区からの修正案に目を通し、その提案内容を検討するよう要請する。

**07-79 組織全体プロジェクトおよびキャンペーン**(2007年11月理事会会合、決定57号)

説明文: 審議会が付託した決議 07-71、07-73、07-79 は、それぞれ組織全体としての新しいプログラム、あるいはキャンペーンを支援することを検討するよう理事会に要請した。2007年6月の決定258号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:** 理事会は、審議会により付託された決議 07-71 (ポリオ撲滅の後、きれいな水と公衆衛生に関するプログラムを実施する件)、決議 07-73 (ポリオ撲滅の後、「水を守ろう」と称するプログラムを支援する件)、決議 07-79 (児童労働虐待をなくすキャンペーンを支援する件)を受けて

1. 「ポリオ・プラス・プログラムが成功裏に完了するまで、その他の国際プログラムは検討されない」とするロータリー章典、第 40.040.1 項を再確認する。
2. ポリオが撲滅されるまでは着手されないことを認識した上、新しい組織全体プロジェクトを選択する基準と時期について同意する 2005年11月の決定45号を再確認する。
3. 水プロジェクトを支援することに関心を示すロータリー・クラブと地区に、世界社会奉仕、会長任命支援グループ、あるいはロータリアン行動グループのような既存の RI プログラムを通じて、各自が支援したいと考える水プロジェクトに参加するよう奨励する。
4. 水プロジェクトに関心と支援を寄せた米国、California、Riverside ロータリー・クラブ、メキシコ、D.F.、Ciudad de México ロータリー・クラブ、メキシコ、D.F.、San Rafael ロータリー・クラブに対し、感謝の意を表す。
5. 児童労働虐待をなくすキャンペーンに関心を示し、このような虐待が存在する事実をロータリー・クラブと地区に広め、これをなくすことに努めた RIBI 審議会に感謝の意を表す。

**07-81 特別月間**(2007年6月理事会会合、決定234号)

**07-82**

**07-83**

**07-84**

説明文: 審議会決議07-81、07-82、07-83、07-84では、水、人類、環境、ロータリーにおける女性、友情を特別月間として指定することが提案された。

**決定:** 審議会決議 07-81、07-82、07-83、07-84(すべて、特定の月を特定の大義のために指定することを理事会に要請する案)を受けて、理事会は、

1. 水プロジェクトを支援する第 1650 地区および第 1790 地区(フランス)に感謝の意を表す。
2. 5月を水月間に指定することに同意しない。
3. ロータリーの理念を通じた人道的な活動と環境関連のロータリー・プロジェクトの支援に対し、提案者であるブラジル、S.P.、São José do Rio Preto ロータリー・クラブおよび第 4480 地区に感謝の意を表す。
4. 7月を環境保全月間に指定することに同意しない。

5. 7月を人類月間に指定することに同意しない。
6. ロータリーにおける女性支援に向けて努力しているブラジル、Recife-Apipucos、Pe.ロータリー・クラブおよび第 4500(ブラジル)に感謝の意を表す。
7. 5月をロータリーにおける女性月間に指定することに同意しない。
8. ロータリーにおける友情の重要性を認識したフランス、Moselle、Saint-Avold ロータリー・クラブおよび第 1790 地区(フランス)に感謝の意を表す。
9. 5月を友情月間に指定することに同意しない。

**07-85 臓器提供に関する教育について取り上げる日を年に 1 日設けることを検討するよう、RI 理事会に要請する件(2007 年 11 月理事会会合、決定 60 号)**

説明文:臓器提供者の需要と実際の臓器提供者の数とが一致しないことに言及し、審議会により付託された決議 07-85 は、臓器提供に関する教育について取り上げる日を年に 1 日設けることを検討するよう理事会に要請した。2007 年 6 月の決定 258 号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:**審議会により付託された決議 07-85(臓器提供に関する教育について取り上げる日を年に 1 日設ける件)を受けて、理事会は、

1. 臓器提供に関する教育プロジェクトに関心と支援を寄せた第 2120 地区(イタリア)に感謝の意を表す。
2. 臓器提供に関する教育について取り上げる日を年に 1 日設けることに同意しない。

**07-96 「新世代交換」という呼称を「若者交換(Young Adults Exchange)」に変える件(2007 年 6 月理事会会合、決定 235 号)**

説明文:審議会決議07-96は、「新世代交換」という呼称をより具体的な説明を伴うようにと、「若者交換(Young Adults Exchange)」に変えることを求めた。

**決定:**審議会決議 07-96(「新世代交換」という呼称を「若者交換(Young Adults Exchange)」に変えることを検討する件)を受けて、理事会は、2007-08 年度地区青少年交換委員長のアンケート調査の実施を事務総長に要請し、年齢 18~25 歳までの若者を対象とする青少年交換プログラムの一部の新しい名称候補に関して委員長の考えを求め、2008 年 1 月の理事会会合において、この調査結果を報告してもらった。

**07-98 模擬国連総会(MUNA)を公式の RI プログラムとして採択する件(2007 年 6 月理事会会合、決定 236 号)**

説明文:模擬国連会議プログラムは、国連がどのように機能しているかを青少年に理解してもらえよう、多くの国において組織されている。審議会決議07-98 は、模擬国連総会(MUNA)を公式のRIプログラムとして採択することを推奨した。

**決定:**審議会決定 07-98(模擬国連総会(MUNA)を公式の RI プログラムとして採択することを検

討する件)を受けて、理事会は、

1. 模擬国連総会を公式の RI プログラムとして採択することに同意しない。
2. 国際理解と平和を支援するようロータリー・クラブを奨励し、教育を通じて青少年にこれらの価値観を投入するためにクラブが模擬国連会議を支援する努力を評価するという伝統的な立場を保持する。

#### 07-107 RI 定款の中でロータリーの徽章と超我の奉仕について言及することを検討する件 (2007 年理事会会合、決定 237 号)

説明文: 審議会決議07-107は、国際ロータリー定款の中でロータリーの歯車と標語について言及するという立法案を、2010年の規定審議会に提案することを検討するよう、RI理事会に要請した。

**決定:** 審議会決議 07-107 (RI 定款の中でロータリーの徽章と超我の奉仕について言及するという立法案を次回の規定審議会に提案することを検討するよう、RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. ロータリー徽章と標語「超我の奉仕」がロータリアンにとって重要であることを認める。
2. 機会あるごとにロータリー徽章と標語「超我の奉仕」に言及するよう、RI とロータリアンを奨励する。
3. 組織規定にロータリー徽章に関する言及を追加することや、また、組織規定で標語「超我の奉仕」に言及することを同意しない。

#### 07-109 RI の第二の標語を改正する件 (2007 年 6 月理事会会合、決定 238 号)

説明文: 2004年規定審議会で、ロータリーの第二の標語、「He Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」が「They Profit Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」と改正された。審議会決議07-109は、職業奉仕は個人の行動によって実践されるという哲学を反映させるため、再びこの標語を改正するよう提案し、この標語を「He/She Profits Most Who Serves Best (最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」と改正することを推奨した。

**決定:** 審議会決議 07-109 (RI の第二の標語を改正することを検討するよう、RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、RI の第二の標語を「They One Profits Most Who Serves Best」(「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」)と改正するために、2010年規定審議会へ決議を提出することに暫定的に同意する。

#### 07-113 新しいロータリーの賛歌を作曲するために世界的なコンテストを行うことを検討する件 (2007 年 6 月理事会会合、決定 238 号)

説明文: 1999年11月の決定222号で、理事会はルードヴィヒ・ヴァン・ベートーベン作曲の「エグモント序曲」作品84を編曲したものを公式のロータリーの賛歌 (Rotary Anthem) として採択した。審議会決議07-113は、新たなロータリー賛歌を創作するために世界的なコンテストを行うことを提案した。

**決定:** 審議会決議 07-113 (新しいロータリーの賛歌を作曲するために世界的なコンテストを行うことを検討する件)を受けて、理事会は新しいロータリーの賛歌を作曲するために世界的なコンテストを行うことに同意しない。

**07-118 未来の夢計画に関する審議会決議(2007年10月管理委員会会合、決定11号)**

**07-120**

**07-121** 説明文:2007年規定審議会は、未来の夢計画委員会が現在検討中の提案を含む一連の決議を採択した。

**決定:**管理委員会は、

1. 審議会決議 07-118(地区補助金のために、地区が地区財団活動資金(DDF)の30%までを使用することを認めることを検討するよう、管理委員会に要請する件)および決議 07-120(マッチング・グラントの最低額を米貨2,500ドルまで引き下げることが検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI理事会に感謝の意を表す。
2. 上記の決議が、本会合で管理委員会が採択した未来の夢計画のAタイプの補助金構成に取り組むものである点に言及する。
3. 審議会決議 07-121(マッチング・グラントを使用した建物の建設にを許可することを検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RIに感謝の意を表し、この件については、すでに未来の夢計画委員会に分析を求め、2008年4月の管理委員会会合でその分析を報告するよう付託されていることに言及する。
4. 審議会決議 07-130(RIウェブサイトの「研究グループ交換」の部分に研究グループ交換組み合わせ地区要請のセクションを設置することを検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI理事会に感謝の意を表す。
5. 事務総長がRIウェブサイトに「研究グループ交換討論フォーラム」およびGSEのための「安全サイト」を提供しており、どちらも研究グループ交換プログラムの地区の組み合わせを行うためにロータリアンが使用できることに言及する。
6. 審議会決議 07-132(奨学金の申請手続きの期間を短縮することを検討するよう、管理委員会に要請する件)および決議 07-134(ロータリーのウェブサイトに掲載されるプロジェクト情報の量を増やすよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI理事会に感謝の意を表す。
7. 上記の決議 07-130、07-132、07-134が、ロータリー財団の業務プロセス検討という観点から検討が行われている点に言及する。

**07-124 個々の補助金やプロジェクトの監査や調査に関連する経費や手続きを見直すことを検討するよう、管理委員会に要請する件(2007年10月管理委員会会合、決定12号)**

説明文:2007年規定審議会は、個々の補助金やプロジェクトの監査や調査に関連する経費や手続きを見直すことを検討するよう、管理委員会に要請した。

**決定:**管理委員会は、

1. 説明文:審議会決議 07-124(個々の補助金やプロジェクトの監査や調査に関連する経費や手

続きを見直すことを検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI 理事会に感謝の意を表す。

2. 財団資金の適切な管理に向けての努力を再確認し、費用効率の高い方法で財務調査および監査を引き続き実施していくことに同意する。
3. 過去 10 年間、適切な資金管理を徹底させるため、人道的補助金専門家グループが、人道的補助金ならびにその他の財団プロジェクトの監査や監視業務をボランティアとして提供してきたことを称える。
4. 適切な資格を備えた専門家が近くにいる場合、人道的補助金の監査および監視に携わる専門家の顧問を近隣地域から任命するという慣習を再確認する。

#### **07-130 未来の夢計画に関する審議会決議(2007年10月管理委員会会合、決定11号)**

**07-132**

**07-134** 説明文:2007年規定審議会は、未来の夢計画委員会が現在検討中の提案を含む一連の決議を採択した。

**決定:**管理委員会は、

1. 審議会決議 07-118(地区補助金のために、地区が地区財団活動資金(DDF)の30%までを使用することを認めることを検討するよう、管理委員会に要請する件)および決議 07-120(マッチング・グラントの最低額を米貨 2,500ドルまで引き下げることが検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI 理事会に感謝の意を表す。
2. 上記の決議が、本会合で管理委員会が採択した未来の夢計画の A タイプの補助金構成に取り組むものである点に留意する。
3. 審議会決議 07-121(マッチング・グラントを使用した建物の建設を許可することを検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI に感謝の意を表し、この件については、すでに未来の夢計画委員会に分析を求め、2008年4月の管理委員会会合でその分析を報告するよう付託されていることに言及する。
4. 審議会決議 07-130(RI ウェブサイトの「研究グループ交換」の部分に研究グループ交換組み合わせ地区要請のセクションを設置することを検討するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI 理事会に感謝の意を表す。
5. 事務総長が RI ウェブサイトに「研究グループ交換討論フォーラム」および GSE のための「安全サイト」を提供しており、どちらも研究グループ交換プログラムの地区の組み合わせを行うためにロータリアンが使用できることに言及する。
6. 審議会決議 07-132(奨学金の申請手続きの期間を短縮することを検討するよう、管理委員会に要請する件)および決議 07-134(ロータリーのウェブサイトに掲載されるプロジェクト情報の量を増やすよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI 理事会に感謝の意を表す。
7. 上記の決議 07-130、07-132、07-134 が、ロータリー財団の業務プロセス検討という観点から検討が行われている点に言及する。

#### **07-137 年次報告書に寄付増進に関する経費の内訳を記載するよう、管理委員会に要請する件(2007**

年 10 月管理委員会会合、決定 13 号)

説明文:2007年規定審議会は、「年次報告書に寄付増進に関する経費の内訳を記載するよう、管理委員会に要請する件」を決議した。

**決定:**管理委員会は、

1. 審議会決議 07-137(年次報告書に寄付増進に関する経費の内訳を記載するよう、管理委員会に要請する件)の付託に対し、RI 理事会に感謝の意を表す。
2. ロータリアンおよびほかの財団の支援者に対して透明性を保ち、責任を負うことの重要性を認める。
3. 寄付増進費の内訳明細が財団の監査済み財務報告書ならびに国内歳入局連邦納税申告用紙 990 に含まれていること、また、これらは共に RI のウェブサイトで公開されている上、事務総長へ要請すれば入手できることに言及する。

**07-143 「ロータリーの綱領」の第 1 項のスペイン語訳を変更する件**(2007 年 11 月理事会会合、決定 62 号)

説明文:審議会決議 07-143 は、解釈の混乱を避けるため、「ロータリーの綱領」の第 1 項のスペイン語訳を変更することを推奨した。2007 年 6 月理事会決定 240 号は、現在の訳語の使用に内在する問題について、スペイン語を話すロータリー指導者と共にこの翻訳を検討し、理事会の会合で結果を報告するよう、事務総長に要請した。

**決定:**理事会は、

1. ロータリーの綱領」の第 1 項のスペイン語訳を、「El desarrollo del conocimiento mutuo como ocasión de servir」と修正する。
2. この訳語の変更をクラブと地区に伝えるよう、スペイン語圏のロータリー・ワールド・マガジン・プレス(ロータリー世界刊行雑誌)に助言することを事務総長に要請する。
3. 修正された通りに新しい翻訳を出版物に反映させるよう事務総長に要請する。

**07-169 奉仕プログラムの長期計画に飢餓と貧困の問題を取り入れることを検討するよう、RI 理事会に要請する件、および貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置を検討するよう、RI 理事会に要請する件**(2007 年 11 月理事会会合、決定 58 号)

説明文:審議会に付託された決議 07-74 は、飢餓と貧困問題を RI の奉仕プログラムに関する長期計画の優先事項とすることを求めるものである。審議会に付託された決議 07-169 は、専門家からなる委員会を設け、全世界の国々の貧困緩和策を課題に研究を行うことを理事会に要請した。2007 年 6 月の決定 258 号において、理事会はこれらの決議の審議を本会合まで延期した。

**決定:**理事会は、審議会により付託された決議 07-74(奉仕プログラムの長期計画に飢餓と貧困の問題などを取り入れることを検討するよう要請する件)および審議会により採択された決議 07-169(貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置を検討するよう要請する件)を受けて、

1. 飢餓および貧困プロジェクトに関心と支援を寄せたアルゼンチン、S.F.、Rosario Oeste ロータリ

- 一・クラブおよび第 4880 地区(アルゼンチン)に感謝の意を表す。
2. 貧困と飢餓は「奉仕の機会に関する項目」に含まれていることを言及する。
3. 貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置に関心を示したコロンビア、Ant.、Medellín-EI Poblado ロータリー・クラブおよび第 4280 地区(コロンビア)に感謝の意を表す。
4. 貧困緩和の研究に取り組む委員会の設置に同意しない。

**07-174 地区が 1 つのゾーンのみ属するよう、ゾーンの再編成を行う件(2007 年 6 月理事会会  
07-175 合、決定 241 号)**

説明文:RI細則は、少なくとも8年に1度、ゾーン内のロータリアン数をほぼ等しくするために、ゾーンの構成を総合的に見直すよう、理事会に義務づけている。提案された審議会決議07-174は、ゾーン内のロータリアン数をほぼ等しくするために、ゾーンを再編成するよう、理事会に求めた。審議会決議07-175は、米国とカナダの国境沿いのゾーンを再編成し、各地区が1ゾーンのみ属するようにすることを理事会に要請した。

**決定:**審議会決議07-174(ゾーンの再編成を検討するよう、RI理事会に要請する件)を受けて、理事会は、決議07-175(地区が1つのゾーンのみ属するよう、ゾーンの再編成を検討することをRI理事会に要請する件)を採択し、次回の全ゾーンの構成と境界の包括的見直しの一環として、これらの要請を検討することに同意する。

**07-177 第 5 ゾーンを 3 つのセクションに再編成する件(2007 年 6 月理事会会合、決定 242 号)**

説明文:インドの第5ゾーンは、2002年に理事会によって3つのセクションに分けられたが、その後一理事の推奨により、2003年に2つのセクションに戻された。審議会決議07-177は、第5ゾーンが再び3つのセクションに分けられるよう提案した。

**決定:**審議会決議07-177(第5ゾーンを3つのセクションに再編成することを検討するよう、RI理事会に要請する件)を受けて、理事会は、次回の全ゾーンの構成と境界の包括的見直しの一環として、これらの要請を検討することに同意する。

**07-180 ロータリー・クラブへの連絡を行うにあたり、より効率的で費用のかからない方法を見つけることを検討する件(2007 年 11 月理事会会合、決定 61 号)**

説明文:ロータリーのさまざまな主題について早く、正確な情報を受け取る必要性に言及した上で、審議会決議 07-180 号は、ロータリー・クラブとのより効率的で費用のかからない方法を見つけるよう理事会に要請した。2007 年 6 月の決定 258 号において、理事会はこれらの決議案の審議を本会合まで延期した。

**決定:**審議会決議 07-180(ロータリー・クラブへの連絡を行うにあたり、より効率的で費用のかからない方法を見つけることを検討するよう理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. この立法案を提出したスウェーデン、Stockholm-Skärholmen ロータリー・クラブに感謝の意を表す。
2. ロータリアンが利用できるさまざまな通信や情報源をさらに推進するよう、事務総長に要請す

る。

**07-183 ロータリアンが RI ウェブサイトを通じて会員情報を制限付きで見ることができるようにすることを検討する件**(2007年6月理事会会合、決定243号)

説明文:RIのデータベースに蓄積された個人情報もロータリアンも見ることができるべきであるという信念に基づき、審議会決議07-183号は、RIウェブサイトを通じてロータリアンが会員情報を制限付きで見ることができるようにすることを提案した。

**決定:**審議会決議 07-183(ロータリアンが RI ウェブサイトを通じて会員情報を制限付きで見ることができるようにすることを検討すること)を受けて、理事会は、

1. 次ロータリー年度中、理事会が会員データベースを大幅に改良し、「会員アクセス」ポータルサイトを利用するロータリアンのための「読み取り専用」の追加機能を設けることを勧告した。
2. この改良には、ほかの「セルフサービス」機能に加えて、すべてのロータリアンが自分の会員記録を更新できるようアクセス権を拡張することの可能性についての検討も含まれることに言及する。

**07-184 RI ウェブサイト上の資料の説明を改善することを検討する件**(2007年6月理事会会合、決定244号)

説明文:大半のRI出版物は、文書番号、言語、そして時に改訂日を含む独自のコード番号によって識別されている。審議会決議07-184は、RIウェブサイト上のすべての資料にこのようなコード番号をつけることを提案した。

**決定:**審議会決議 07-184(RI ウェブサイト上の資料の説明を改善することを検討する件)を受けて、理事会は、該当する場合には rotary.org のダウンロード・センターに掲載されている文書の説明にコード番号が必ず含まれるよう確認することを事務総長に要請した。

**07-186 ロータリーのウェブサイトにも E クラブへの目立つリンクを設けることを検討する件**(2007年6月理事会会合、決定245号)

説明文:ロータリーのEクラブは、ロータリアンが出席必須義務を維持するための機会を提供するものであることに言及した上で、審議会決議07-186は、RIウェブサイトのホームページに目立つEクラブのリンクを設けるよう推奨した。

**決定:**審議会決議 07-186(ロータリーのウェブサイトにも E クラブへの目立つリンクを設けることを検討する件)を受けて、理事会は、ロータリーのウェブサイトのホームページに E クラブのリンクを設けないことで合意した。

**07-187 クラブが使用するためのインターネットのソフトウェアについて**(2007年11月理事会会合、決定63号)

説明文:審議会決議 07-187 は、クラブと地区が使用するためにインターネットの会合用ソフトウェアとプラットフォームを提供することを検討するよう、理事会に要請した。2007年6月の決定246号において、理事会は、ロータリーの全公式言語で利用できるそのようなソフトウェアの利用可能性について調査し、本会合で報告するよう事務総長に要請した。事務総長は、そのようなサービ

スの導入費用をより正確に判断するためには、ロータリアンによる実際の利用需要に関するさらなる情報が役立つと述べた。

**決定:** 審議会決議 07-187 (クラブが使用するために、インターネットの会議用ソフトウェアとプラットフォームを提供することを検討するよう、理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. この決議に対するロータリー・クラブからの支持状況を判断するために、ニーズ分析を行うよう事務総長に要請した。
2. 分析の結果が判明し、正確なコスト分析が行われて2008年11月会合で理事会に報告が行われるまで、本件に関する決定を延期する。

**07-203 RI 定款、RI 細則、ロータリー章典上で、意味が不明瞭な語彙を明確にする件** (2007年6月理事会会合、決定 247号)

説明文: RIの組織規定には矛盾や不明瞭な語彙が数例含まれているという信念に基づき、審議会決議07-203は、そのような語彙を削除するか、その代わりに不明瞭と思われる語彙の定義を記載した規範となる語彙リストを作ることを提案した。

**決定:** 審議会決議 07-203 (RI 定款、RI 細則、ロータリー章典上で、意味が不明瞭な語彙を明確にすることを検討するよう、理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. クラブが理事会の方針を解釈するのを助け、誤解を避けるために、RIの組織規定およびロータリー章典の言葉を明確かつ正確にすることの重要性を認識する。
2. ロータリー章典を改正する際には、不明瞭な言葉遣いを避けるために最善を尽くすことで合意する。

**07-204 出版物の番号に 10 進法を使うことを検討する件** (2007年6月理事会会合、決定 248号)

説明文: RIと財団の出版物は、プログラムまたは機能に従って番号を付けるシステムによって分類されている。審議会決議07-204は、すべてのRIとロータリー財団の出版物に10進法を使うことを提案した。

**決定:** 審議会決議 07-204 (出版物の番号に 10 進法を使うことを検討するよう理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. ブラジル、Caxia do Sul ロータリー・クラブに感謝の意を表す。
2. RIと財団の出版物で現在使われている番号のシステム、すなわち、プログラムまたは機能別の出版物の分類システムを支持する。
3. 各クラブがそれぞれ自国の分類方法に基づくシステムを用いるよう推奨する。

**07-205 ロータリーのプログラムや活動を RI が認めている各言語で明確に示されるようにすること** (2007年6月理事会会合、決定 249号)

説明文: RIはその多くのプログラムに言及する際に、通例、アルファベットの省略形を用いる。こう

した省略形は、英語に基づいているため(例えば、WCSはWorld Community Service)、必ずしもほかの言語で理解されるとは限らない。審議会決議07-205は、ロータリーの各公式言語のためにRIのプログラムと活動の省略形を定めることを推奨した。

**決定:** 審議会決議 07-205 (ロータリーのプログラムや活動を RI が認めている各言語で明確に示されるようにすること)を受けて、理事会は、

1. この決議案を提出したアルゼンチンの San Juan Capital, S. J ロータリー・クラブに謝意を表す。
2. すべての言語において英語の省略形を使うという現行の慣習を支持し、その後に該当言語の出版物タイトルの翻訳を付けることとする。
3. 各地での使用状況に基づき、必要であれば例外を認めることを事務総長に許可する。

**07-210 会長代理は指定された地域の言語に堪能であることを義務づける (2007 年 6 月理事会会合、決定 250 号)**

説明文: 任命された会長代理とのコミュニケーションが困難な場合があることに言及した上で、審議会決議07-210は、会長代理が任命を受けて派遣される地域の言語に堪能であることを提案した。

**決定:** 審議会決議 07-210(会長代理は指定された地域の言語に堪能であることを義務づけることを検討する件)を受けて、理事会は、可能である場合には、RI 会長の代理が派遣される地区の言語に関する経験を有していることを推奨する。

**07-213 翻訳の方針の見直しについて (2007 年 11 月理事会会合、決定 117 号)**  
**07-219**

説明文: 審議会決議 07-213 と 07-219 は、ヒンディー語とロシア語を認められた RI 公式言語のリストに追加することを提案した。2007 年 6 月の決定 251 において、理事会は、RI の出版物の翻訳と通訳に関する現在のの方針を見直し、本会合で理事会に勧告案を提出するよう事務総長に要請した。事務総長は、現在、RI から翻訳資料を受け取っている各言語集団には少なくとも 4 万人のロータリアンがいること、また、ヒンディー語とロシア語を話すロータリアンはおよそ 4 万 2 千人いることを報告した。

**決定:** 管理委員会は、

1. 英語が RI の公式言語であることを再確認した上で、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、スウェーデン語の翻訳を提供し続けることに同意する。
2. 2008 年 7 月 1 日現在、作成中(改訂中)の出版物について、ヒンディー語の翻訳を提供し始めることに同意する。
3. 2008 年 1 月の理事会会合において、ヒンディー語の追加による経費への影響を報告するよう、事務総長に要請する。
4. 上述の言語以外の言語集団は、引き続き、翻訳プロジェクト(旧称「翻訳試験的プロジェクト」)に参加し、ボランティアによって翻訳された出版物の印刷と配布の費用を RI が支弁することを

推奨する。

5. 2007-08 年度予算の差異米貨 7 万ドルを、新ロータリー国の拡大支援、およびロータリー国となってから年数の浅い国における会員増強の支援のために必要な選ばれた資料をほかの言語に翻訳するために使用することを許可する。

**07-222 年次国際大会を 6 月 14 日／16 日までに終了することを推奨することを検討する件**(2007 年 6 月理事会会合、決定 252 号)

説明文:クラブと地区の交代式やそのほかロータリアンにとって関心のある地元での行事と重複する可能性を避けるため、審議会決議07-222は、将来の国際大会が6月16日までに終了することを推奨した。

**決定:**審議会決定 07-222(年次国際大会を 6 月 14／16 日までに終了することを推奨するよう検討することを理事会に要請する件)を受けて、理事会は、ロータリー章典 57.030 を以下の通り改正する。

**57.030. 開催日**

国際大会の開催都市を決定する際に、理事会が国際大会の開催期日を指定しなかった場合には、理事会の執行委員会にその期日を指定する権限が与えられる 2015 年より、国際大会は 6 月の後半に開催されるべきではない。

**07-224 国際大会委員会の推奨項目を調査する理事会委員会の報告**(2007年6月理事会会合、決定289号)

説明文:2007年2月の決定166号において、理事会は、RI国際大会検討のためのアドホック委員会による提案の財政的・運営的影響を分析するにあたって事務総長と協力する、理事から成る委員会を任命するよう、会長と会長エレクトに要請した。この委員会は2007年4月18、19日に、米国イリノイ州のエバンストンで会合を開き、国際大会の財政的・運営的な事柄について理事会に数多くの推奨項目を提出した。

**決定:**管理委員会は、

1. 報告された国際大会委員会の推奨項目を検討した理事会委員会に感謝を表す。
2. ロータリー章典31.040および第57条を、補遺資料Kに示された通りに改正する。

**07-268 選挙の不服申し立て手続きの改正を検討する件**(2007 年 6 月理事会会合、決定 253 号)

説明文:現行のRI選挙における不服申し立て手続きは、最初に不服を申し立てたロータリー・クラブに、申し立てられた候補者が行った回答に対して返答する機会が与えられていない。審議会決議07-268は、そのような返答の機会を与えるために選挙の不服申し立て手続きを改正することを提案した。

**決定:**審議会決議07-268(選挙の不服申し立て手続きの改正を検討するよう、理事会に要請する件)を受けて、理事会は、次回のRI選挙の不服申し立て規則と手続きの包括的見直しの一環として、最初に不服を申し立てたロータリー・クラブが、申し立てられた者から提供される回答の写しを受け取り、そのような回答に対して返答する機会を与えられるよう、手続きを検討することに同意す

る。

**07-295 経費削減チームの任命を検討することを RI 理事会に要請する件**(2007 年 11 月理事会会合、決定 124 号)

説明文: 審議会決議 07-295(経費削減チームの任命を検討することを RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、2007 年 6 月の決定 254 号において、本会合で理事会に報告書を提出するよう RI 財務委員会に本件を付託した。同委員会は、運営が効率的かつ効果的に行われるよう、事務局の経費については継続して検討が行われていることを認めた。また委員会は、RI の物資とサービスの契約は継続して定期的な見直しが行われていること、および主要な契約については定期的に入札が行われていることに言及した。さらに委員会は、RI が最近、ロータリー財団の運営を検討するコンサルティング会社 2 社と契約したこと、および事務局が、RI の経費を一層削減し、効率を高めるようコンサルタントから推奨されたプロセス改善プロジェクトに着手したことにも言及した。

**決定:** 審議会決議 07-295(経費削減チームの任命を検討することを RI 理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. 本決議案を提案したドイツの Bayreuth-Eremitage ロータリー・クラブおよび第 1880(ドイツ)地区に感謝の意を表す。
2. 理事会と RI 委員会が今後も引き続き、コスト効果と効率に取り組んでいくことに言及する。
3. 事務局が今後も引き続き、支援業務のレベルに不利な影響を与えることなく、コスト効果と運営効率を高める機会を模索し、採り入れていくことに言及する。
4. 経費削減チームを任命することには同意しない。

**07-316 規定審議会で採択された制定案が忠実に反映されるよう義務づけることを検討する件**(2007 年 6 月理事会会合、決定 255 号)

説明文: 過去には審議会で採択された制定案が RI の組織規定文書に採択された通りの形で記載されなかったことへの懸念を表明した上で、審議会決議 07-316 は、審議会のすべての制定案が、審議会によって採択された通りの形で RI 組織規定文書に記載されるよう義務づけることを提案した。

**決定:** 審議会決議案 07-316(規定審議会で採択された制定案が忠実に反映されるよう義務づけることを検討するよう理事会に要請する件)を受けて、理事会は、

1. 審議会運営委員会が、採択された制定案の言葉を極力損なわないよう慎重な姿勢で臨むことに言及する。
2. 規定審議会によって採択された制定案が忠実に反映され、採択されたすべての制定案が十分効果を発揮するために必要とみなされる場合にのみ修正されるべきであることに同意する。

**07-348 RI の旅行方針を改正することを検討する件**(2007 年 6 月理事会会合、決定 256 号)

説明文: 審議会決議 07-348 は、RI の旅行方針を改正し、元理事と元管理委員が、理事または管

理委員としての任期を終了した後には、エコノミークラスで旅行することを義務づけることを推奨した。

**決定:** 審議会決定 07-348 (RI の旅行方針を改正することを検討するよう、理事会に要請する件) を受けて、理事会は、補遺資料 E に示されている通りに RI 旅行方針を改正する。